

2020 年 2月 3日

お取引先各位

ディオニー株式会社

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は私共ディオニー株式会社のワインをご愛顧いただきありがとうございます。

さて、先日お問合せを頂戴いたしました異物混入の件につきまして、大変にご迷惑をお掛けしており心よりお詫び申し上げます。ご返送いただいたボトルにつきまして以下の通りご報告申し上げます。

謹白

【商品】

クリスチャン・ビネール／オー・ド・ヴィ

容量：700ml

アルコール度数：40%

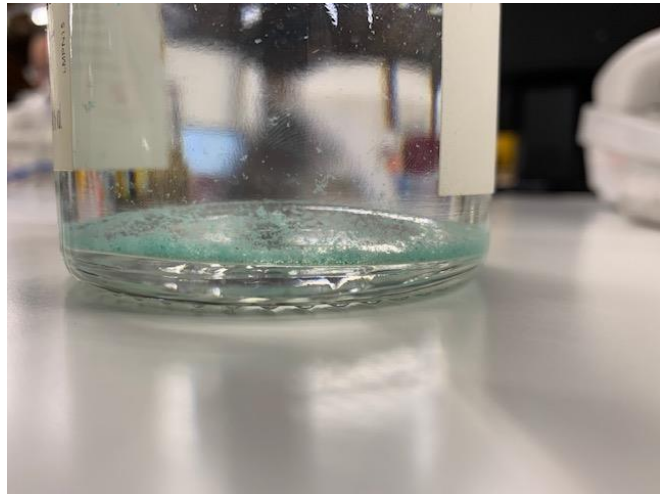
原産国：フランス

税務区分：蒸留酒（オードヴィー）



【状況】

緑色の物質が複数、浮遊／沈殿している



ご返送いただいた本数のうち最も明確なものを一般社団法人日本食品分析センター大阪支所（大阪府吹田市豊津町 3-1 <https://www.jfrl.or.jp/>）に送付、分析依頼致しました。

報告書受理後、分析官の方と電話にて内容再確認し以下の通り要約致します。

【要約】

エネルギー分散型 X 線分析法による元素の定性試験において緑色物質は脂肪酸エステルと脂肪酸銅の混合物であることが分かりました。元々蒸留酒の中に存在している脂肪酸エステルが、脂肪酸塩（塩＝金属との結合を示す）（＝脂肪酸銅）と結合し出現したものです。当該生産者は蒸留を銅製の蒸留器で行っており、その内部の一部が剥がれて混入したのではなく、液体内に自然に含有されるわずかな銅成分の一部が結合により変性したものです。一度結合したものはもう分解されることはなく、再び蒸留酒に溶け込んで消失することもないそうです。

本来、銅は食物を通し毎日微量ずつ体内に摂取される物質ではあるが、健康に害が出るほどの量を超えてしまう可能性については、目に見える緑色の物質自体は銅を含むいくつかの元素からなる化合物であるため純粋に銅だけを抽出するとごくわずかとなるようです。検査機関によると蒸留酒にはよくある現象であるとのことでした。

また、生産者によるとフランスの検査機関でも同じ結果が出たと報告を受けております。